

第5回  
高知大学創立75周年記念  
シンポジウム  
最後の清流  
四万十川と共に  
豊かな暮らしを  
続けるために

入場  
無料

2023

10/7 (土)

14:00-16:00

窪川四万十会館 高岡郡四万十町香月が丘8-102



今城 雅之

高知大学農林海洋科学部  
准教授 博士(農学)・博士(医学)

1999年高知大学農学部栽培漁業学科卒、2001年高知大学大学院農学研究科栽培漁業学専攻修士課程修了、2004年愛媛大学大学院連合農学研究科博士課程修了。高知大学医学部助教、高知大学農林海洋科学部講師を経て現職。海や川で起る魚の病気=魚病の問題は深刻。なぜ病気が起るのか、病気を防ぐためには何をしなければならないのか、こういったテーマで地元に着目して解決していく町医者の研究に精力的に取り組んでいる。



山脇 陳男

四万十川上流淡水漁協 組合長

1948年高知県四万十町生まれ。18歳で法務局に入局。四万十市に3年、土佐清水市に4年、それ以外は四万十町に住む。29歳で法務局を退職、土地家屋調査士となる。現在も土地家屋調査士の傍ら、水稻1.5ha、山林2haを維持管理する。趣味は、巨木・古木を見ること。昭和30年代頃の田舎の原風景の中で生活。



西脇 亜紀

鮎屋仁淀川 代表

高知市出身。就職で高知を離れ、香川、広島、大阪、福岡、京都の市街地を転勤する中、都市部での生活を経験。京都で知り合った夫から鮎釣りを習い、1週間鮎釣り旅行で仁淀川を釣行。仁淀川の美しさ、釣れた天然鮎の素晴らしいさに魅了され、移住を決意。2016年「鮎屋仁淀川」を開業し、「仁淀ブルー友釣あゆ」の販売と「鮎の友釣り体験」を実施している。



神田 修

四万十川財団 事務局長

1971年長野県上田市生まれ。大学3年から毎年四万十川に通い続ける。大学院では中村で居候しながら四万十川流域の聞き書き調査をする。2001年から長野県公立高校の教諭、2008年に異動のタイミングを機に家族5人で四万十市へ移住。2013年4月から現職。



中井 智之

四万十町役場 人材育成推進センター 次長  
高知大学自治体連携コーディネーター

1977年愛媛県上島町生まれ。大学進学がきっかけで高知県に。高知大を卒業後、民間企業を経て四万十町役場(旧窪川町役場)入庁。2018年から四万十川対策室(現四万十川振興室)に配属となり、6年間四万十川に関する業務を担当。その中で、高知大学地域協働学部に委託事業として連携して、竹水鉄砲国際大会の開催や四万十川のイメージ調査などを実施。2023年4月より人事異動により人材育成推進センター配属および高知大学自治体連携コーディネーター任命。

【お申し込み】 入場ご希望の方は、①HP申込フォーム ②TEL ③メール ④FAXのいずれかにて高知大学にお申し込みください。

① HP申込フォーム

<https://forms.office.com/r/JENsapAke2>



② TEL

088-844-8752

③ メール

kn05@kochi-u.ac.jp

④ FAXでのお申し込みは下欄にご記入のうえ [FAX]088-844-8556 まで送信をお願いします。

氏名

TEL

E-mail

申込締切 10月5日(木)

※事前のお申し込みがなくても、当日ご記帳いただき、入場することができます。

個人情報は、本事業の運営業務のほか、感染症対策上の管理業務に使用させていただきます。

また、来場者から感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等へ提供させていただく場合がございます。予め、ご了承ください。

2024年、高知大学は創立75周年を迎えます。

本学では、令和4年(2022年)に、本学の前身である旧制高知高等学校が創立100周年を迎え、続いて令和5年(2023年)に高知医科大学との統合20周年、そして令和6年(2024年)に、高知大学創立75周年を迎えます。そこでこの度、令和4年(2022年)5月から令和6年(2024年)11月までの2年半をアニバーサリー期間と位置づけ、「高知大学創立75周年記念事業」を実施することとなりました。

高知大学創立75周年  
記念事業特設ページ

<https://75th.kochi-u.ac.jp/>



第5回 高知大学創立75周年記念シンポジウム